

ともしび通信

発行：NPO法人没イ手の会・京都



謹賀新年



みなさん、昨年はどうな年でしたか？私は12月に肺癌と診察され、1月から入院、手術になりました。タバコも吸わないのに肺がんとはと、戸惑っています。

それはそれとして、年初めにはいつも私は般若心経の一節を思い出して考えてしまいます。

“色即是空” “空即是色”
“色不異空” “空不異色”
この一節です。

高校時代にこの言葉に出会って60数年考えていますがまだ分かりません。少し分かりかけた事もありましたが、又迷っています。ある人はこの言葉の中に仏教の全てが語られているという方もいます。これがわかれば悟りが開けると、私はその言葉を信じ今まで生きてきました。

た。私の人生の目的はこの一節を解説する事に捧げてきました。

私は人生には手段と目的があると思っています。手段は生きていくための肉体を維持するため、食わなければならない。そんなためには働いてお金を稼がないといけないです。人は皆、学校を出て仕事に就いてお金を稼いでご飯を食べ結婚して子供を持ち生活をして、それは生きるための手段ですね。

目的はこの世に存在するもの全てに目的があつて存在している訳で、例えば鉛筆はものを書くために、消しゴムはそれを消すためにとそれぞれ目的を持っています。人間はどんな目的を持ってこの世に出てきたのでしょうか。それが私にとって最大の謎

ですし、仏教に触れてそこが大きい疑問として与えられた事でした。

私は高校の時から人生の手段はなんでもいいと思うようになりました。大学を出ようと出まいと、職場はどんな仕事でも肉体を維持できればそれでいいのではないかと思うようになつていました。人生は手段と目的がある、この二つが絡み合いながら歳をとっていく、それが人生だと考えるようになっていました。

高校時代のことをお話ししましょう。私は中国から引き上げて来た母子家庭で育ちました。寺町河原町上がるところのお寺に一部屋を借りて、母と二人で生活していました。とても貧乏で私は働きながら高校に通いました。いわゆる夜学に通っていました。昼間はアルバイトをして、学校に5時に行き、部

活を9時から1時間して、11時頃京都駅に自転車で行き、明日の朝刊の荷を下ろすアルバイトをして12時半頃部屋に帰ります。母は母で、昼間土方の仕事をし、その日の生活費を稼いでいました。丸山明宏の“ヨイトマケの歌”そのままの仕事です。あの歌を聴いていると自然と涙がいまでも流れてきます。母の苦労はとんでもない苦労でした。

私は苦労と思ったこともなく、高校時代はとても楽しく充実した時代でした。勉強は小学校中学校と全く自宅ではした事がなく、遊んでばかりでガキ大将でした。遊びは天才で、なんでも自分で作り、例えば、竹を切ってきて竹馬を作りみんなで鬼ごっこをしたり、夏休みは鴨川で毎日泳いでいて、鴨川では物足りなくなり疎水(当時は今のように埋まっていま

せんでした)で泳いだりして、勉強はほとんどしていませんでした。でも体育と音楽はどうゆう訳か5でした。他は3か2ばかり。それは中学校まで続きました。(続きは次号で)

て、勉強はほとんどしていませんでした。でも体育と音楽はどうゆう訳か5でした。他は3か2ばかり。それは中学校まで続きました。(続きは次号で)

引きこもり ニュース 見ていて自分かと パジ ヤマ姿にギョとする午後 迷い道 行けど行けども 光無し 誰に頼られ 誰に頼るか

籠谷弘

歌声喫茶 2月の予定日
「西院」(第2、4木曜日)
2月13日、27日
「洛西」(第1、3木曜日)
2月6日、20日
詳しくはホームページを!



ともしび通信

発行元：NPO 法人没イチの会・京都

住所：京都市西京区大原野東境谷町1丁目1番地4-701

TEL：075-874-5320 FAX：075-874-5328

MAIL：kago@botuichi.com

●ともしび通信では、皆様の投稿を募集しております。身の回りの出来事や体験談など、何でも結構です。楽しかったこと、つらい思いをしたことなど、様々な胸の内を皆様と共有して行きたいと考えております。